事業報告

# 企画展「防災サイエンス～自然災害から身を守れ～」実施報告

進　悦子 *

A Report on the Planned Exhibition "The science of prevention from natural disasters: The way to protect yourself from danger caused by various natural disasters"

SHIN Etsuko

**Abstract**： The Ehime Prefectural Science Museum has held the planned exhibition "The science of prevention from natural disasters: The way to protect yourself from dangers caused by various natural disasters". It was held for 41 days, from February 27th through April 10th in 2016 which received a favorable review from many visitors who have keen interest in natural disaster prevention. This planned exhibition's intention is to show visitors the mechanism of natural phenomena, the relationship between natural phenomena and various natural disasters. And also by showing them various natural disasters in the past, give them the ideas how to protect themselves, how to cooperate with other people and what to prepare to survive and overcome these disasters. The ultimate aim of this exhibition is the same too. This report describes the content and its making process of the exhibition, and our effort how to make visitors fully understand not only by watching explanation panel but also by participating in experience attractions through hands-on exhibitions and several events. The consideration on the exhibition project is also made based on the results of questionnaires from the visitors.

**キーワード**：企画展，防災，自然現象，自然災害，体験展示，アンケート
**Key words**：Planned exhibition, Disaster prevention, Natural phenomena, Natural disaster, Hands-on exhibition, Questionnaire

## はじめに

愛媛県総合科学博物館において, 2016 年 2 月 27 日（土）～ 4 月 10 日（日）の 41 日間，企画展「防災サイエンス～自然災害から身を守れ～」を開催した．この企画展は，全国各地で発生し甚大な被害を及ぼす自然災害に注目し，その災害から自らの身を守り助け合えるように，県民一人ひとりが防災・減災について考えるきっかけとなることを目的として実施した．自然現象の起こるメカニズム，自然現象と災害発生の関係，過去の災害による被災状況，災害からの避難方法を解説し，災害時に役立つ知識や防災用品を展示・紹介した．この報告書では，その展示内容，展示方法及び開催結果を報告する．

## 展示の概要

日本各地において様々な自然災害が発生している．頻発する地震とそれに伴う津波災害，低気圧や大型台風による豪雨・洪水・土砂災害，強風・竜巻・高潮被害，活火山噴火による被害，地域によっては大雪による雪害も起きている．愛媛県においても，台風による大雨や土砂災害は毎年発生しており，また，南海トラフ沿いの地震による大規模な災害が起こった場合，甚大な被害を受けることが懸念されており，誰もが被害者となるリスクを抱えている．

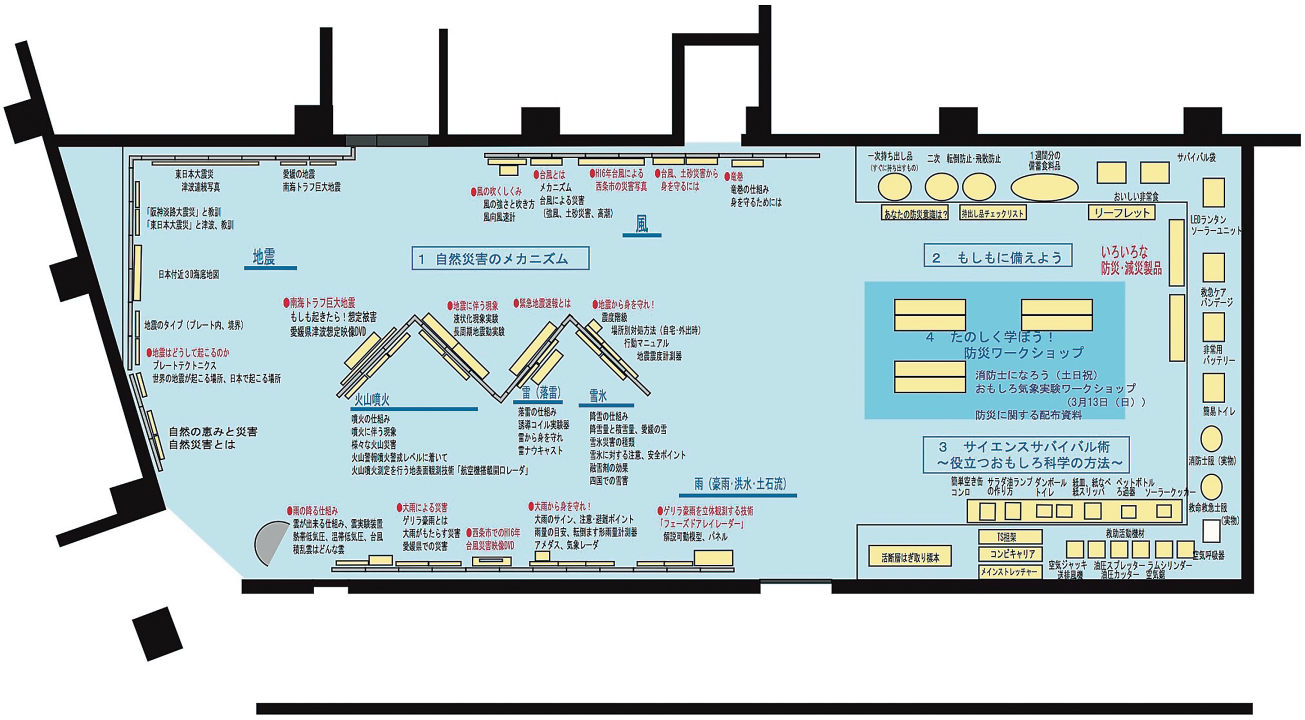
本展示は，地震・風・雨・火山噴火・自然現象と災害発生の仕組み, 過去に発生した大災害, 避難の方法, 防災・減災グッズ，簡易コンロや即席電池の作り方など災害時に役立つ方法を紹介した．今回，国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の協力を得ての気象観測レーダ「フェーズドアレイレーダ」の可動模型を展示し，最新気象観測技術を紹介した．同時に，防災に関するワークショップやイベントを数多く開催し，来場者が参加体験し楽しみながら，生き抜く術を学び，いざというときに

* 愛媛県総合科学博物館　学芸課　科学・産業研究グループ
Curatorial Division, Ehime Prefectural Science Museum

自らの身を守ることができるよう，そして，防災・減災
について考えることがこの展示の根本的な目標である．

## 企画展実施結果

事 業 名：平成 27 年度企画展「防災サイエンス～自然災害から身を守れ～」
開催日時：平成 28 年 2 月 27 日(土)～平成 28 年 4 月 10 日(日) 41 日間
会　　場：愛媛県総合科学博物館　企画展示室
主　　催：愛媛県総合科学博物館
総入場者数：7,980 人
入 場 料：常設展観覧券必要
対　　象：一般




企画展「防災サイエンス～自然災害から身を守れ～」会場レイアウト

## 展示内容

「自然災害のメカニズム」「もしもに備えよう」「サイエンスサバイバル術～役に立つ科学の方法～」「楽しく学ぼう！防災イベント」の４つのコーナーで構成．展示物は表１のとおりである．

### 1　自然災害のメカニズム

地球内部の変化に起因する「地震」「火山噴火」，大気中の諸現象により起こる気象現象「風（台風や暴風雨，竜巻）」「雷」「雨」「雪氷（降積雪）」の気象現象のメカニズム，それらに誘導されて起こる災害について解説した．また，過去に日本各地また愛媛県内で発生した災害による被災写真や映像の展示し，自然災害の恐ろしさを伝えるとともに，災害時における行動や日頃の備えについて紹介した．

#### 1.1 地震

内陸型地震と海溝型地震の発生の仕組み，地震に伴い起こる現象（津波，液状化現象，長周期地震動）をパネルや実験装置を用いて解説した，そして，愛媛新聞社と岩手日報社の協力を得て東日本大震災において発生した津波の連続写真を展示し，地震や津波から身を守るために取るべき行動について紹介した（写真 1）．また，愛媛県が作成した南海トラフ巨大地震体験版 DVD を上映し，県内の想定被害の具体的なイメージ映像によって，来場者に地震に対する危機感と日頃から備えることの大切さを感じてもらった（写真 2）．同時に愛媛県北部（西条市氷見）で採取された当館所蔵の活断層剝取り標本を展示し，愛媛県において断層が多数存在し、これらのずれによる地震発生の可能性があることも解説した （写真 3）．

#### 1.2 火山噴火

火山噴火のメカニズム，日本の活火山，火山噴火による様々な災害をパネルにて解説し，火山噴火による産出物として当館所蔵の火山灰（熊本県阿蘇山），軽石（鹿児島県桜島），溶岩（熊本県阿蘇山），火山弾（熊本県阿蘇山）の実物資料を展示した（写真 4）．火山噴火から身を守る方法として気象庁が発表する噴火警報と噴火警戒レベルの見方を解説した．また，国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が開発した，航空機に搭載したレーダによって人が近づけない火山の火口付近を観測し災害状況を把握することのできる技術「航空機搭載合成開口レーダ（Pi-SAR2）」とその観測原理をパネルにて紹介した．

#### 1.3 風

気圧の違いにより空気が移動する“風”が，その強さによって強風をもたらす台風や竜巻となり大きな被害を及ぼすことを解説した(写真 5)．台風に伴い起こる風害，水害，土砂災害，高潮の災害と解説し，県内において甚大な被害を及ぼした平成 16 年発生の台風による新居浜市・西条市の災害写真パネルを，新居浜市防災安全課及び西条市危機管理課の協力を得て展示した（写真 6）．台風予報図の見方，土砂災害の前兆現象や避難のポイントをパネルで紹介した．

#### 1.4 雨

雲の発生の仕組み，積乱雲の構造，大雨をもたらす温帯低気圧と熱帯低気圧，そして熱帯低気圧が発達して起こる台風についてパネルで紹介した（写真 7）．また近年多発している局地的豪雨（ゲリラ豪雨）の起こる原因にも触れ，地球温暖化などの変化が自然環境に大きな影響を与えている可能性を提示した．大雨により起こる河川氾濫，土石流や崖崩れ，地滑りの土砂災害の恐ろしさを，西条市製作の災害記録 DVD「平成 16 年災害（台風 21 号）の記録」(5 分 16 秒）の上映とともに紹介した（写真 8）．そして，積乱雲が近づくサイン，川やアンダーパスなど注意の必要な場所，避難のポイントを大雨から身を守る方法として解説した．

大雨などを予測する気象庁の気象観測システム「アメダス」，国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が開発した 3 次元降雨観察を高速で行うことのできる最先端気象レーダ「フェーズドアレイ気象レーダ」を同機構から借用した可動式模型とともに紹介した（写真 9）．フェーズドアレイ気象レーダの 3 次元降雨観測システムに，ドップラーライダーによる解析データと融合観測することで，雨滴の大きさやより正確に観測する次世代フェーズドアレイ気象レーダについても触れ，急速に変化するゲリラ豪雨や竜巻を瞬時に捉えることのできる最新気象技術と未来への可能性を紹介した．

#### 1.5 雷（落雷）

落雷発生の仕組みを解説し，当館所蔵の誘導コイル実験装置を用いて放電現象を再現し入場者が観察できるようにした（写真 10）．雷から身を守る安全な空間，電化製品を守る落雷対策，気象庁の雷監視システム，雷の最新情報を伝える雷ナウキャストとその情報取得方法を紹介した．

#### 1.6 雪氷（降積雪）

雪の降る仕組み，愛媛県での積雪状況，大雪，路面凍結，雪崩など雪氷による災害と冬場の注意点をパネルで紹介した．また, 冬場に活用される凍結防止剤（融雪剤）の実物展示と，塩によって雪や氷の凝固点が低くなる凝固点降下についてパネルで解説した（写真 11）．

### 2　もしもに備えよう

常に最低限の備えを普段使いのカバンなどに入れておく「いつも携帯品」(0 次の備え)．非常時に備えて各家庭で常に用意しておくべき非常用持ち出し品（1 次持ち出し袋)，避難生活が長引いた時に便利なもの（2 次

持ち出し袋)，家具の転倒防止・ガラス飛散防止グッズ，火災時の消火グッズなど，防災減災製品を実物とともに展示・紹介した（写真 12)．また，望ましいとされる大人一人あたり 1 週間分の備蓄食料と飲料を展示し（写真 13)，災害時・非常時に安全を確保できるよう日頃から防災対策を促した．防災減災製品や備蓄食料品は県内のホームセンターより借用した．

また，避難生活において重要な「食」の備えとして最新防災食を展示した．ハンバーグや筑前煮など普段食べているものと変わらない防災食「おいしい防災食シリーズ」(写真 14)，発熱剤で保存食を加熱する「あったか防災食シリーズ」(写真 15）を展示した．東日本大震災による避難生活の中で一番問題だったと言われる「トイレ」について，排泄物を固形化して臭いを閉じ込め菌を繁殖させない「非常用トイレ　ほっといれ」(写真 16) とその使い方を紹介した．その他，太陽光で充電して夜間に 6 ～ 12 時間点灯する折りたたみ式非常用 LED ソーラーランタン（写真 17)，誰でも止血処置を行うことができる「止血パッド」(写真 18）など，東日本大震災を教訓に考案された最新防災減災グッズを展示した．

## 3　サイエンスサバイバル術～役に立つ科学の方法～

知っておくと非常時に役立つアイデア工作を作り方と完成品とともに紹介した．また，新居浜市消防本部より借用した災害時に使用するレスキュー道具を固定ハイケース内に展示し，その使用方法をパネルで紹介した(写真 19)．

### 3.1 サラダ油ランプ

サラダ油を燃料に，ティッシュペーパーのこよりを芯にして作るサラダ油ランプ．家にあるもので簡単に作れる非常用ランプとして紹介した（写真 20)．

### 3.2 アルミ缶コンロ

アルミ缶とアルミホイル，ティッシュペーパーでできる卓上コンロの作り方を紹介した．燃料はサラダ油で，10 分程度でお湯が沸き 30 分程度でご飯を炊くこともできる．ガスや電気がストップしても調理ができるこの卓上コンロは，公益財団法人市民防災研究所が考案し HP で紹介している防災アイデア（写真 21)．

### 3.3 炭で作るハイパワー電池

備長炭に食塩水を染み込ませたキッチンペーパーを巻き，その上にアルミホイルを巻いて作る炭電池の作り方を紹介した．炭 1 本で乾電池 1 個分のパワーがあり，懐中電灯や防災ラジオに使う乾電池が切れてしまった時に活躍する（写真 22)．

### 3.4 ソーラークッカー

ソーラークッカーは，太陽光で食材を調理できる電気もガスも直火も使わない器具．ここでは，日本ソーラークッキング協会会長　鳥居ヤス子氏が考案した鳥居式ソーラークッカーの作り方を紹介した．レンジシートやペットボトルなど，身近な材料で作ることができ，晴天時で 1 時間～ 1 時間半ほどでゆで卵ができる．このソーラークッカーの工作教室を平成 28 年 4 月 9 日(土)に関連イベントとして行った（写真 23)．

### 3.5 ダンボールトイレ

日本トイレ研究所が考案したダンボールとガムテープだけで作る簡易トイレを展示した．大人が座っても潰れないほど頑丈な作りになっている．便座にビニール袋を取り付けて使用する．西条市市民安全部危機管理課が製作したダンボールトイレを展示した（写真 24)．

### 3.6 新聞スリッパ

新聞紙でできる簡易スリッパの作り方を紹介した．地震発生時にガラスやがれきなどが散乱し，室内が危険な状況となった時に活用する．新聞紙見開き一枚で大人一足分，半分で作れば子ども用のスリッパができる（写真 25)．

## 4　たのしく学ぼう！防災イベント

### 4.1 消防士になろう！

新居浜市消防本部より借用した子どもサイズの防火衣(実際に使用されているものと同じ素材で作られている)と専用ヘルメットを，希望する子どもたちが着用し，消火用ホースを持ち消防車の看板をバックにポーズを決めて撮影した．実物と同じ素材の重みや感触を体感してもらった．開催期間中の土・日・祝日 11:00 ～ 12:00 と 14:00 ～ 16:00 に開催し，着用には当館スタッフ及びボランティアスタッフが対応した．期間中 884 人の参加者があった（写真 26)．

### 4.2 地震に強い家を知ろう！～ペーパークラフト工作～

平成 28 年 2 月 28 日(日)にエントランスホールにおいて，愛媛県土木部建築住宅課の職員による指導のもと，家の耐震免震構造に関する実験と工作を行った（写真 27)．参加者はペーパーで家の模型を作り，そこに筋交いのある家とない場合とを地震に見立てて同時に揺らし，揺れの違いを確認した．また，台車に乗せた木製のミニチュア家模型を参加者が揺らし，筋交いの入れ方で地震に強い家になることを実験で確かめ，住宅の耐震化，免震化の重要性を説明した(写真 28)．51 名の参加者があった．

### 4.3 おもしろ気象実験ワークショップ

平成 28 年 3 月 13 日(日)に企画展示室内において，松山地方気象台の職員 4 名による気象実験ワークショップを開催した．竜巻発生装置や雨滴観察装置，ペットボトル雲発生器を用いて，実演しながら来場者に気象現象の起こる仕組みを解説した（写真 29)．来場者は，自ら実験道具を使って雲を作り，雨滴実験を体験しながら，雨滴の形や雲ができる仕組みを学習した．182 名の来場者があった．

### 4.4 防災講演会「台風や気象災害に備える」

平成 28 年 3 月 13 日(日)第 1 研修室において，松山地方気象台防災管理官　船本幸二氏を講師に迎え防災に関する講演会を開催した．台風や豪雨など気象災害に対する気象庁の観測方法，発表される情報の見方，また平成 25 年 8 月から創設された「特別警報」について解説し，自らの安全を守るために最新気象情報を収集する重要さを説明した（写真 30）．講演後の質疑応答においても，受講者から活発な質問があった．23 名の受講者があった．

### 4.5 ドキドキ！地震体験

平成 28 年 3 月 26 日(土)博物館生涯学習棟入口前において，新居浜市市民部防災安全課及び愛媛県消防学校に協力を頂き，起震車による地震の揺れ体験を行った（写真 31）．起震車操作には，新居浜市市民部防災安全課防災情報係長　高橋直樹氏に協力を頂いた．定員 4 名の起震車にグループごとに乗り，初級地震（震度 3）・中級地震（震度 5）・上級地震（震度 7）を，参加者の年齢や状況に合わせて震度を変えて体験した．また, 関東地震, 東北地方太平洋沖地震など過去に起きた地震の他，東海地震や東南海・南海地震の想定震度の揺れを体験した．163 名の参加があった．

### 4.6 防災工作教室「ソーラークッカーの工作」

平成 28 年 4 月 9 日(土)第 1 研修室において，愛媛県総合科学博物館友の会科学クラブ会員　黒瀬康正氏を講師に迎え，防災工作教室「ソーラークッカーの工作」を開催し 28 名が参加した．ソーラークッカーは，太陽光を反射板で一ヶ所に集めて食材を熱し調理する，電気や直火を使わない調理器具．災害時に役立つ方法として，その作り方と使用方法を紹介した．ソーラークッカーの原理説明をした後，レンジシートやペットボトル，洗濯バサミなど身近な材料を用いてソーラークッカーを製作した．次に，完成したソーラークッカーの中に食材（生卵）を入れて調理実験を行った（写真 32）．2 時間後に食材を取り出してみると，曇天にもかかわらず卵が固ゆで状態になっていることを参加者全員が確認することができた（写真 33）．

## 体験展示

気象や災害などの「現象」を紹介する方法として可能なところで実験装置や体験展示を取り入れた．地震のコーナーにおいては，3D メガネをかけて見ると飛び出して見える立体日本近海海底地形図を展示した．海上保安庁が作成した 3D 海底地形図は，起伏に富んだ日本周辺の海底地形を体感することができる（写真 34）．

地震に伴い起こる現象として「液状化現象」と「長周期地震動」を，手作りの実験道具と装置で入場者が現象を再現できるようにした．液状化とは，地震によって地盤が一時的に液体のようになる現象で，建物が沈み込んだり地盤が沈下したりする被害をもたらす．ペットボトルの中に洗浄した砂とピンと水を入れ，ペットボトルを振ってしばらく置き，軽く叩くと砂に埋もれたピンが飛び出し，砂の位置が下に沈下してしまう（写真 35）．

東日本大震災では，長周期地震動により震源から離れた首都圏や大阪でも高層ビルが揺れる現象が起きた．この現象を紹介するために，スポンジ製の 3 つの高さのビルを並べた土台に取手をつけた実験装置を製作・設置した．取手部分を持って揺らすと，はやく揺らすと低いビルが，ゆっくりでは高いビルが揺れやすくなる現象を見ることができる（写真 36）．液状化現象と長周期地震動の実験装置は，国立研究開発法人防災科学研究所の HP で紹介されている「地盤液状化の科学おもちゃ“エッキー”」と「共振現象の科学おもちゃ“ゆらゆら”」を参考に製作した．

雷のコーナーにおいて，誘導コイル実験装置により放電現象を再現した．全体をアクリルでカバーし，ボタンを押すと 5 秒間放電するタイマーを取り付けた（写真 37）．

## ポスター・チラシ

ポスター（B2 サイズ）チラシ（A4 サイズ）は同デザインで，注意喚起させる黄色を全体に施しながら，災害という負のイメージが強くなり過ぎないように展示内容を全てイラストで示した．下部に期間中開催の関連イベント案内を入れ，参加・体験しながら楽しく災害や防災について学べることを紹介した．

## アンケート調査

会期中，入場者に対してアンケート調査を行った．企画展示室内に専用コーナーを設置し，入場者はアンケート用紙に自由に記入し回収ボックスに投函する．アンケートの記入項目は以下のとおりである．

1　企画展を知ったきっかけ（いくつでも選択可）
　チラシ･ポスター，博物館ホームページ，マスメディア(テレビ / 新聞 / ラジオ / タウン情報誌･フリーペーパー)，家族友人に聞いて，来館して初めて知った，その他

2　入場の理由（いずれか 1 つに○）
　内容に興味があった，常設展示を見に来たついで，プラネタリウムを見に来たついで，観光の途中で来館した，家族友人に誘われた，その他

3　感想（いずれか 1 つに○）
　大変満足，満足，普通，不満，大変不満

4　印象に残ったコーナー（3つまで記入）
5　感想や要望（自由記入）
6　博物館で実施してほしいイベント（自由記入）

入場者の特徴調査として，住所（県内（市町村）・県外（何県）），性別，年齢（幼児，中学生，高校生，16～19歳，20代，30代，40代，50代，60歳以上），来館単位（家族・親戚，友人・恋人，学校団体，一般団体，お一人で），来館頻度（はじめて，年に2～3回，それ以上）の項目を調査した．この調査に対して入場者72名の回答を得られた．集計結果は，報告書の後半に記載する．

## 開催結果・考察

本企画展は，41日間の会期中に7,980人の総入場者数を記録し無事に終えることができた．入場者に対して行ったアンケート調査の結果に基づいて考察する．

入場者の地域区分が県内とほぼ半数を占め，その中でも新居浜市の比率が30.7%，西条市14.5%と当館近辺からの入場者が多かった．入場者年齢で最も多かったのが小学生45.8%，家族や親戚での来館が66.7%と高かった．来館回数が数回かそれ以上を合わせて75%とリピーターが多かったことからも，この企画展では博物館近隣地域からの家族単位での入場が多く得られたように考えられる．来場動機として「プラネタリウムのついで」27.8%，次点に「興味があった」26.5%とほぼ同じで，広告媒体が「ポスター・チラシを見て」41.6%とあり，この企画展に対して関心を持つ人が多く来場していると推測される．

一番人気のあった展示コーナーは「もしもに備えよう」の防災用品46.8%だった．非常用トイレや防災食品，備蓄食料など実物を展示したこと，また「生活」「食」という身近な内容で入場者の関心が高かったからではないだろうか．非常用LEDランタンはキャンプや釣りでも使えて便利ということで，度々来館者から購入方法を尋ねられることもあった．次が「気象の実験」36.2%で，4位の「消防服着用体験」21.3%にも言えるが，実演して見せるものや体験できるものは人気が高いことがわかる．感想の中に「消防士服体験が楽しかった」「もっと体験できるようにして欲しい」が複数あることからもこのことが伺える．スタッフが実演しながら気象現象を解説する「気象の実験」が1日のみのイベントにもかかわらず高い数字となったのは，それだけ入場者の印象に残ったからではないだろうか．この手法は，入場者にとって解説パネル以上に興味を引き理解に繋がる可能性があると思われる．

3位は「地震」13%で，自然現象コーナーの中では一番高かった．全国各地で頻発している地震に不安感・危機感を持つ人は多いかもしれない．愛媛県においても南海トラフ巨大地震発生による被害が懸念されており，また県内には断層帯が多く見られ熊本地震のような内陸型地震が起こる可能性もあるため，地震や備えに関心のある人の入場がこの数値に現れたのではないだろうか．会期中に東北地方太平洋沖地震発生から5年目を迎えることもあり，防災に関心の高まる時期であったことも考えられる．自然現象の中でも「地震」は一番大きく設けて解説しており，3D海底地形図や南海トラフ被害想定CG上映，東日本大震災における津波襲来の写真展示など，見所が多くあったこともこの結果に繋がったと思われる．

この企画展を開催したきっかけは，2011年3月に起きた東日本大震災である．震災発生の年の8月に当博物館の科学実験教室「サイエンスサバイバル術」を実施した．当館としてはメジャーな実験内容の中から防災として役立つような内容「水の濾過実験」「簡単カイロ作り」「炭電池実験」「サラダ油のランプ」を取り上げて，災害に直面した時に生き抜くための知識や方法を子ども達に紹介した．その翌年と翌々年も開催し，また，県内中学校や公民館から依頼をうけて，防災教育として学校生徒や高齢者に対して出張科学講座を行うこともあった．その規模と対象を広げて，より多くの人の目に触れ防災を意識するきっかけとなるように企画展を開催することにしたのである．

まず自然現象発生のメカニズムを解説し，その自然現象が災害へと繋がる仕組み，そして防災・減災の方法を紹介した．そのため，解説するべき内容が膨大になりパネル数が増えた．しかし，雷実験装置や長周期地震動実験などの体験装置，雨量計測器や地震計の実物資料，映像などを各所に取り入れることで，パネルの多い内容でも興味を持って見てもらうことができたのではないかと考える．解説が多く内容もやや高年齢向き展示の中で，活躍したのが新居浜市消防本部から借用した「消防士服」だった．災害時に活躍する消防士に扮することのできるこのコーナーは，体験展示として人気を博し，写真撮影をする親子連れで賑わった．また，子ども達が着用体験をしている間に大人が展示に集中することにも繋がった．

この企画展では，防災製品専門業者や地元のホームセンターの協力により多種多様な防災･減災グッズを展示･紹介が可能となった．また，松山市，西条市，新居浜市の防災危機管理課からの災害写真提供，情報通信研究機構や松山地方気象台からの情報提供・資料借用など多くの関係機関の方々の支えにより開催することができたと強く感じる．自然災害に遭遇する可能性は誰にでもあり，私たちは常に防災を意識していく必要がある．この企画展で終了とせず，今後も科学博物館として周囲と協力しつつ発信し続けることが大事だと考える．

## 謝　　辞

企画展開催にあたり，多くの関係者の方々に多大なる御指導･御協力を頂きました．改めて御礼申し上げます．

開催風景写真

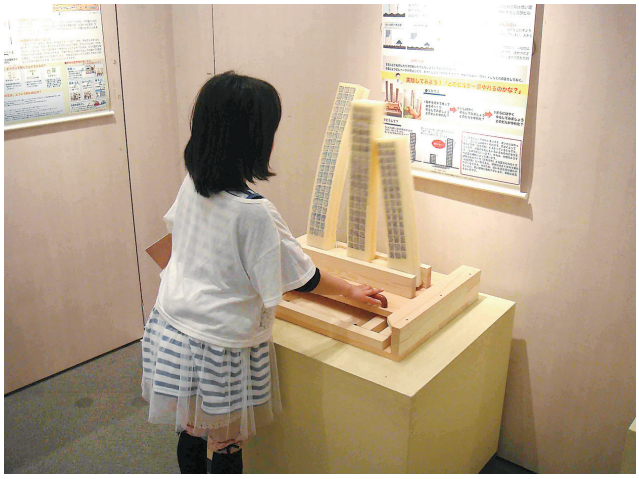


表１　展示物，解説パネル一覧

| コーナー | サブコーナー | 展示解説グラフィックス | サイズ | グラフィックス | 展示物 | 展示協力先 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ごあいさつ | | | A1 | グラフィックス | | |
| １自然災害のメカニズム | １自然と災害 | 自然の恵みと災害 | B2 | グラフィックス | | |
| | | 自然災害とは、災害の種類 | B2 | グラフィックス | | |
| | ２地震 | 地震 | | コーナータイトル | | |
| | | プレートテクトニクス | B2 | グラフィックス | | |
| | | 地震が起こる場所、日本で起こる地震（プレート境界型） | B2 | グラフィックス | プレート型地震実験器 | |
| | | 地震のタイプ（陸、海洋プレート内）断層 | B2 | グラフィックス | | |
| | | 阪神淡路大震災、教訓、地震と火災 | B2 | グラフィックス | | |
| | | 東日本大震災と津波、津波のメカニズム | B2 | グラフィックス | | |
| | | 東北を襲った津波の連続写真 | A3 | キャプション | 写真 | 愛媛新聞　借用 |
| | | 愛媛の地震（陸プレート内、海プレート内）、過去の地震、活断層 | B2 | グラフィックス | 活断層はぎ取り標本 | 館蔵品 |
| | | 南海トラフ巨大地震について | B2 | グラフィックス | | |
| | | 南海トラフ巨大地震想定 CG 映像 | A3 | キャプション | DVD 映像 | 愛媛県防災危機管理課　提供 |
| | | 3D 日本列島周辺立体海底図 | A3 | キャプション | 海底地形図、メガネ | 第六管区海上保部　提供 |
| | | もしも南海地震が起きたら①予想震度 | A3 | グラフィックス | | 愛媛県防災危機管理課　借用 |
| | | もしも南海地震が起きたら②建物被害 | A3 | グラフィックス | | 愛媛県防災危機管理課　借用 |
| | | もしも南海地震が起きたら③津波到達時刻 | A3 | グラフィックス | | 愛媛県防災危機管理課　借用 |
| | | もしも南海地震が起きたら④各市町村別被害予想１ | A3 | グラフィックス | | 愛媛県防災危機管理課　借用 |
| | | もしも南海地震が起きたら⑤各市町村別被害予想２ | A3 | グラフィックス | | 愛媛県防災危機管理課　借用 |
| | | 地震に伴う現象（液状化） | B2 | グラフィックス | 実験器 | 製作 |
| | | 地震に伴う現象（長周期地震動） | B2 | グラフィックス | 実験器 | 製作 |
| | | 地震から身を守れ①震度階級 | A3 | グラフィックス | | |
| | | 地震から身を守れ②基本５か条 | A3 | グラフィックス | | |
| | | 地震から身を守れ③自宅編 | A3 | グラフィックス | | |
| | | 地震から身を守れ④外出編 | A3 | グラフィックス | | |
| | | 地震から身を守れ⑤行動マニュアル、日頃からの備え | A3 | グラフィックス | 地震震度計、パネル | 松山地方気象台　借用 |
| | | 地震の予報・警報「緊急地震速報」、しくみ | B2 | グラフィックス | | |
| | ３火山噴火 | 火山噴火 | | コーナータイトル | | |
| | | 噴火の仕組み | B2 | グラフィックス | | |
| | | 噴火に伴って起こる現象、噴火事例 | B2 | グラフィックス | | |
| | | さまざまな火山災害（火山灰、軽石、溶岩、火山弾） | B2 | グラフィックス | 火山灰、軽石、溶岩、火山弾 | 館蔵品 |
| | | 火山警報について | B2 | グラフィックス | | |
| | | 噴火警戒レベルについて | B2 | グラフィックス | | |
| | | 火山の火口付近の観測を行う地表面観測機 Pi-SAR2 | B2 | グラフィックス | 解説パネル | 情報通信研究機構　提供 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 4 雨 | 雨 | | コーナータイトル | | |
| | | 雲の出来る仕組み、雨が降る仕組み | B2 | グラフィックス | | |
| | | 大雨をもたらす温帯低気圧、熱帯低気圧、台風、積乱雲はどんな雲 | B2 | グラフィックス | | |
| | | 局地的豪雨（ゲリラ豪雨）とは、ゲリラ豪雨の仕組み、ヒートアイランド現象 | B2 | グラフィックス | | |
| | | 大雨による災害（河川氾濫、土砂災害、洪水、浸水） | B2 | グラフィックス | | |
| | | 大雨から身を守れ（積乱雲の近づくサイン、降水ナウキャスト） | B2 | グラフィックス | | |
| | | 大雨から身を守れ（注意が必要なところ） | B2 | グラフィックス | | |
| | | 大雨から身を守れ（避難のポイント） | B2 | グラフィックス | | |
| | | 雨量計、避難が必要な雨量の目安 | A3 | グラフィックス | 雨量計測器 | 松山地方気象台　借用 |
| | | 西条市の豪雨災害映像 | A3 | キャプション | DVD | 西条市危機管理課　提供 |
| | | 観測で災害を防止（アメダス、気象レーダ） | B2 | グラフィックス | パネル | 松山地方気象台　借用 |
| | | 観測で災害を防止（フェーズドアレイレーダ①特徴、仕組み） | B2 | グラフィックス | 可動模型、パネル | 情報通信研究機構　借用 |
| | | 観測で災害を防止（フェーズドアレイレーダ②今後、情報公開 WEB） | B2 | グラフィックス | | 情報通信研究機構　提供 |
| | 5 風（台風、竜巻） | 風 | | コーナータイトル | | |
| | | 風の吹く仕組み | B2 | グラフィックス | | |
| | | 台風とは | B2 | グラフィックス | | |
| | | 台風による被害（風害、水害、高潮害） | B2 | グラフィックス | | |
| | | 台風から身を守れ | B2 | グラフィックス | | |
| | | 愛媛を襲った台風による被害 | A4 | キャプション | 写真 | 西条市、新居浜市　提供 |
| | | 土砂災害から身を守れ | B2 | グラフィックス | | |
| | | 竜巻とは、竜巻から身を守れ、雹に注意 | B2 | グラフィックス | | |
| | | 風の強さと吹き方 | B2 | グラフィックス | 風車型風向風速計、パネル | 松山地方気象台　借用 |
| | 6 雷（落雷） | 雷 | | コーナータイトル | | |
| | | 雷（落雷）、落雷の仕組み、いろいろな放電 | B2 | グラフィックス | | |
| | | 雷から身を守るには | B2 | グラフィックス | | |
| | | 雷ナウキャストについて | B2 | グラフィックス | | |
| | | 誘導コイルの放電現象実験 | A3 | 実験方法 | 実験器 | 当館所蔵 |
| | 7 雪氷 | 雪氷 | | コーナータイトル | | 製作 |
| | | 降雪の仕組み、雪の結晶 | B2 | グラフィックス | | 製作 |
| | | 日本海側に雪が降るわけ、降雪量と積雪量、愛媛の雪 | B2 | グラフィックス | | 製作 |
| | | 雪氷災害、注意点、安全ポイント | B2 | グラフィックス | | 製作 |
| | | 雪氷災害の種類 | B2 | グラフィックス | | 製作 |
| | | 融雪剤の効果（塩の氷点降下） | B2 | グラフィックス | 融雪剤 | 松山河川国道事務所　提供 |
| | | 四国での雪害（H26 年 12 月徳島ゲリラ豪雪） | A3 | キャプション | パネル | 松山河川国道事務所　提供 |
| 2 もしもに備えよう | わが家の防災 | もしもに備えよう | | コーナータイトル | | |
| | | 0 次の備え | B2 | グラフィックス | | |
| | | 1 次の備え（災害時避難持ち出し品） | B2 | グラフィックス | 非常用リュック、マネキン | 株式会社ダイキ　協力 |
| | | 2 次の備え（備蓄品） | B2 | グラフィックス | フィルム比較展示品 | 株式会社ダイキ　協力 |
| | | 日頃の備え　家具の転倒防止、ガラスの飛散防止 | B2 | グラフィックス | 家具、固定用品 | 株式会社ダイキ　協力 |
| | | 備蓄食料（1 週間分の非常用食品） | | | 非常用食品 | 株式会社ダイキ　協力 |
| | | わが家の防災グッズ　チェックリスト | A3 | キャプション | | 防災未来センター　協力 |
| | いろいろな防災グッズ | いろいろな防災グッズ | | コーナータイトル | | |
| | | おいしい防災食、非常食、保存水 | B2 | パネル | 製品 | アルファフーズ　協力 |
| | | 安心サバイバル（箱、袋）、あったかご飯シリーズ、クイックボイル、ヒートパック、折りたたみ便座 | B2 | パネル | 製品 | 光陽ビジネスサービス株式会社　協力 |
| | | LED ランタン「エムパワード」、モバイルソーラーユニット | B2 | パネル | 製品 | 日本植生株式会社　協力 |
| | | 救急ケアバンテージ、止血パッド | B2 | パネル | 製品 | 昭和技研株式会社　協力 |
| | | 簡易トイレ「ほっといれ」 | B2 | パネル | 製品 | 株式会社エクセルシア　協力 |
| | | 非常用大容量バッテリー | B2 | パネル | 背品 | 光陽ビジネスサービス株式会社　協力 |
| 3 サイエンスサバイバル術 | 役立つ科学の方法 | サイエンスサバイバル術～役立つ科学の方法～ | | コーナータイトル | | |
| | | サラダ油ランプ | A4 | グラフィックス | 展示 | 製作 |
| | | アルミ缶コンロ | A4 | グラフィックス | 展示 | 製作 |
| | | 炭で作るハイパワー電池 | A4 | グラフィックス | 展示 | 製作 |
| | | ソーラークッカー | A4 | グラフィックス | 展示 | ソーラークッカー協会　協力 |
| | | ダンボールトイレ | A3 | グラフィックス | 展示 | 西条市役所　借用 |
| | | 新聞スリッパの作り方 | A4 | グラフィックス | 展示 | 製作 |
| | レスキューコスチューム | 救助活動の道具 | | コーナータイトル | | |
| | レスキュー道具 | 防火衣（トルソー） | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部、歴史文化博物館　借用 |
| | | 感染防護服 1（トルソー） | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部、歴史文化博物館　借用 |
| | | 感染防護服 2 | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | 空気呼吸器 | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | AED | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | メインストレッチャー | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | TS 担架 | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | コンビキャリア | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | バッグボード | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | ネックカラー | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | マット型空気ジャッキ「エアマイティー」 | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | エンジンカッター | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | ラムシリンダー | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | 可搬式ウインチ（チルホール） | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | 空気ノコギリ | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | 送排風機 | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | 油圧カッター | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| | | 油圧スプレッター | A4 | キャプション | 展示 | 新居浜市消防本部　借用 |
| 4 防災ワークショップ | | 消防士になろう | A3 | キャプション | 子ども用消防士服 8 着 | 新居浜市消防本部　借用 |

写真 1

写真 2

写真 3

写真 4

写真 5

写真 6

写真 7

写真 8

写真 9

写真 10

写真 11

写真 12

写真 13

写真 14

写真 15

写真 16

写真 17

写真 18

写真 19

写真 20

写真 21

写真 22

写真 23

写真 24

写真 25

写真 26

写真 27

写真 28

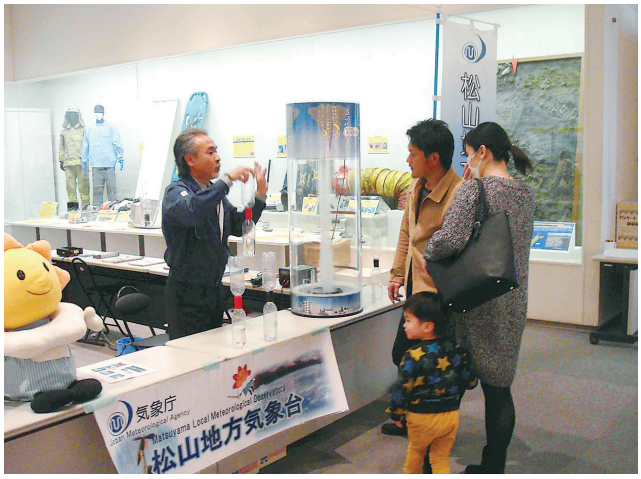



写真 29

写真 30

写真 31

写真 32

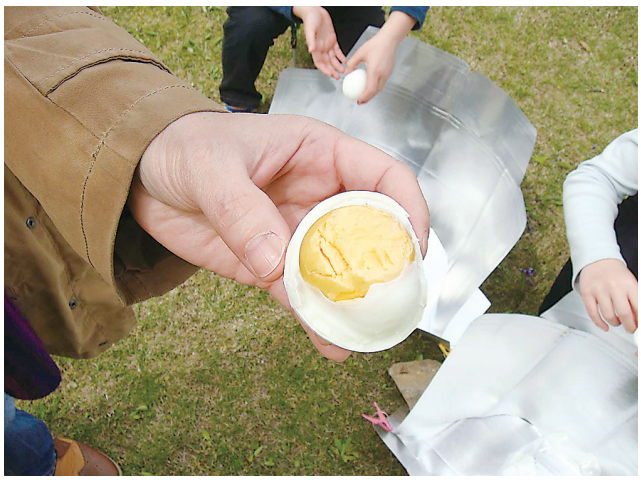


写真 33

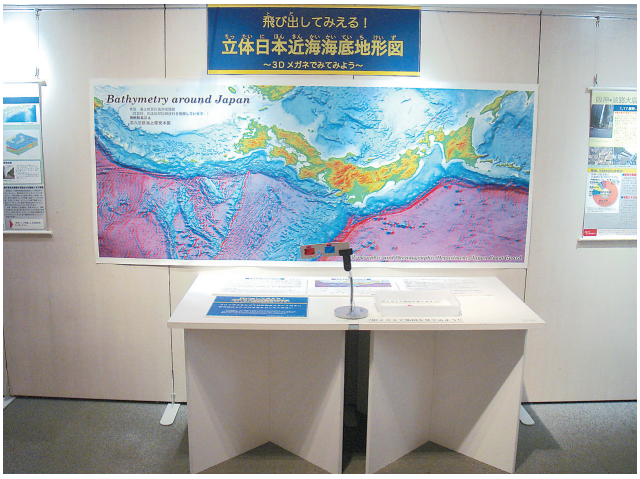



写真 34

写真 35

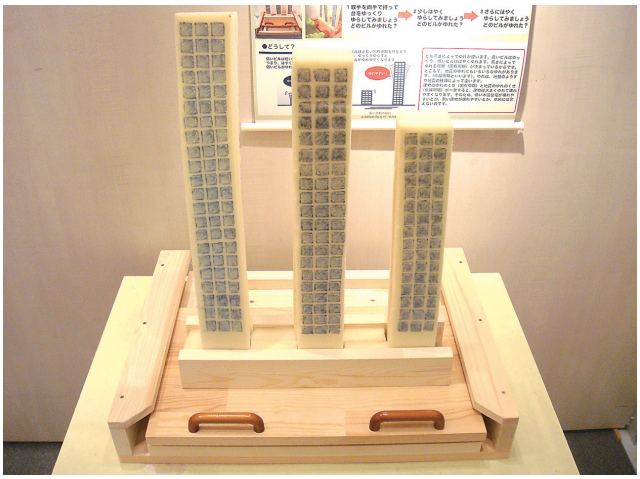


写真 36

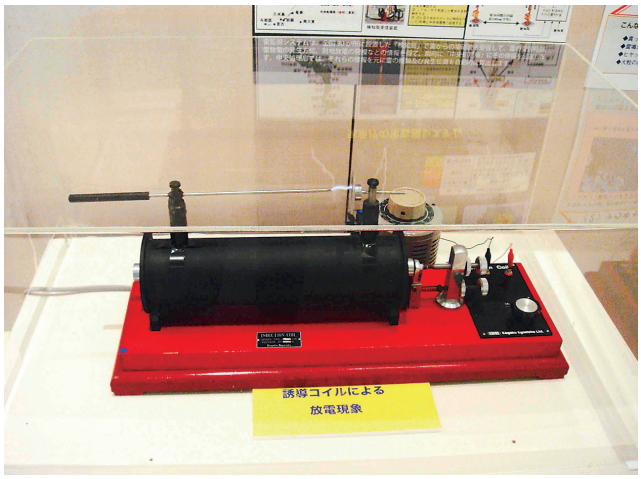



写真 37

## 企画展「防災サイエンス」アンケート結果

| 項　目 | カウント |
|---|---|
| 回答数 | 72 |

1. 来館者の特徴

地域

| 項　目 | 県　内 | 県　外 | 無記入 | 小　計 |
|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 44 | 9 | 19 | 72 |
| 比率（%） | 61.1 | 12.5 | 26.4 | 100.0 |

地域（県内詳細）

| 項　目 | 松山市 | 新居浜市 | 西条市 | 今治市 | 四国中央市 | 大洲市 | 愛南町 | 愛媛県 | 無記入 | 小　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 4 | 19 | 9 | 1 | 3 | 1 | 3 | 3 | 19 | 62 |
| 比率（%） | 6.5 | 30.7 | 14.5 | 1.6 | 4.8 | 1.6 | 4.8 | 4.8 | 30.7 | 100.0 |

地域（県外詳細）

| 項　目 | 香川県 | 広島県 | 山口県 | 佐賀県 | 兵庫県 | 神奈川県 | 東京都 | 小　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 9 |
| 比率（%） | 22.5 | 11.0 | 11.0 | 22.5 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 100.0 |

男女構成

| 項　目 | 男 | 女 | 無記入 | 小　計 |
|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 18 | 43 | 11 | 72 |
| 比率（%） | 25.0 | 59.7 | 15.3 | 100.0 |

年齢

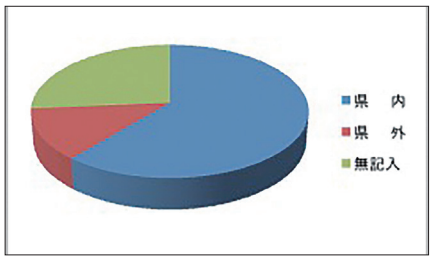
| 項　目 | 幼児 | 小学生 | 中学生 | 15 歳以下 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代 | 無記入 | 小　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 2 | 33 | 2 | 4 | 2 | 5 | 6 | 2 | 6 | 10 | 72 |
| 比率（%） | 2.8 | 45.8 | 2.8 | 5.6 | 2.8 | 6.9 | 8.3 | 2.8 | 8.3 | 13.9 | 100.0 |

来館単位

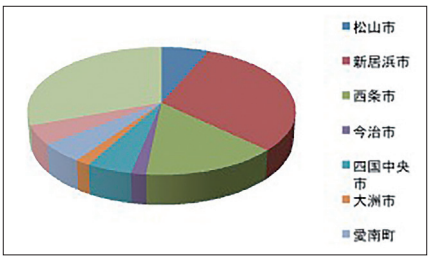
| 項　目 | 家族・親戚 | 友人・恋人 | 学校団体 | 一般団体 | 一人 | 無記入 | 小　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 48 | 5 | 1 | 7 | 1 | 10 | 72 |
| 比率（%） | 66.7 | 6.9 | 1.4 | 9.7 | 1.4 | 13.9 | 100.0 |

来館回数

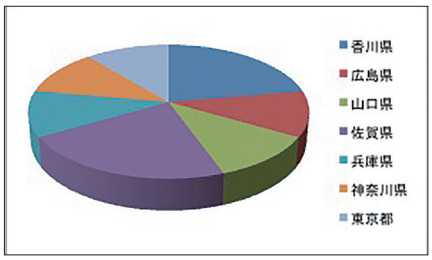
| 項　目 | はじめて | 数　回 | それ以上 | 無記入 | 小　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 11 | 28 | 26 | 7 | 72 |
| 比率（%） | 15.3 | 38.9 | 36.1 | 9.7 | 100.0 |



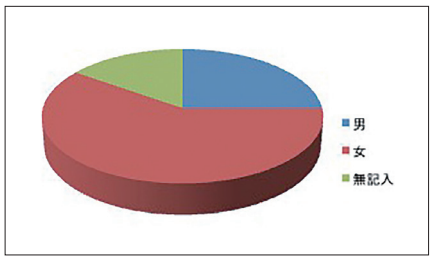
地域



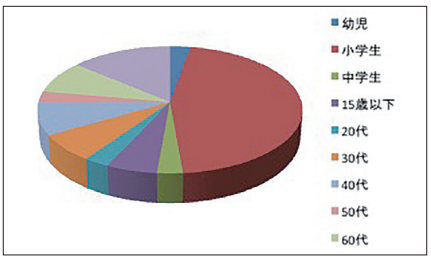
地域（県内）



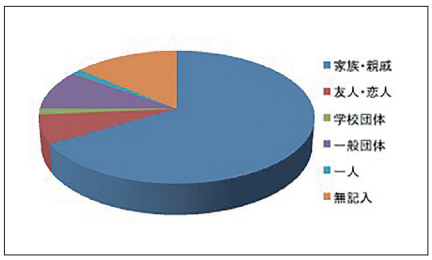
地域（県外）



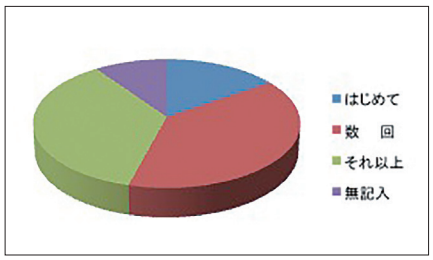
男女構成



年齢



来館単位



来館回数

## 企画展「防災サイエンス」アンケート結果

2. 広報

広告媒体

| 項　目 | ポスター・チラシ | ホームページ | 口コミ | 来館して | その他 | 無記入 | 小　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 30 | 3 | 8 | 26 | 2 | 3 | 72 |
| 比率（%） | 41.6 | 4.2 | 11.1 | 36.1 | 2.8 | 4.2 | 100.0 |

3. 来館動機

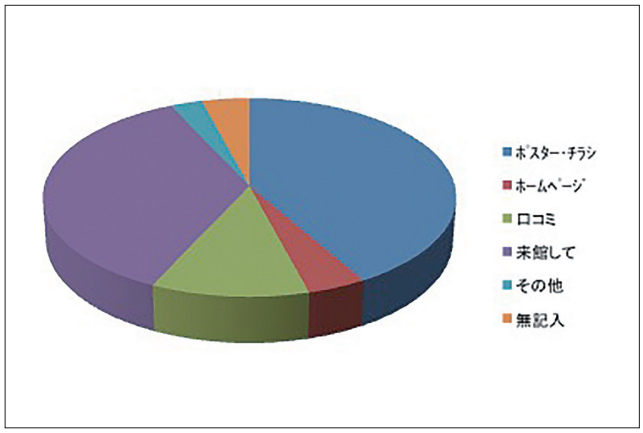
| 項　目 | 興味があった | 常設のついで | プラネのついで | 観　光 | 誘われて | その他 | 無記入 | 小　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 19 | 14 | 20 | 6 | 9 | 2 | 2 | 72 |
| 比率（%） | 26.4 | 19.4 | 27.8 | 8.3 | 12.5 | 2.8 | 2.8 | 100.0 |

4. 満足度

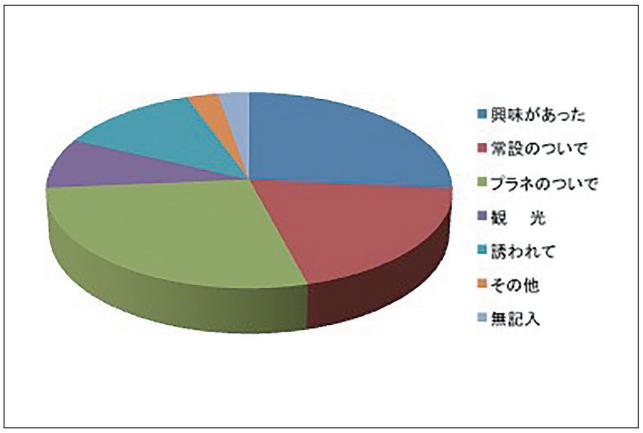
| 項　目 | 大変満足 | 満　足 | 普　通 | 不　満 | 大変不満 | 無記入 | 小　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 38 | 18 | 12 | 0 | 1 | 3 | 72 |
| 比率（%） | 52.8 | 25.0 | 16.6 | 0.0 | 1.4 | 4.2 | 100.0 |

5. おもしろかった展示コーナー

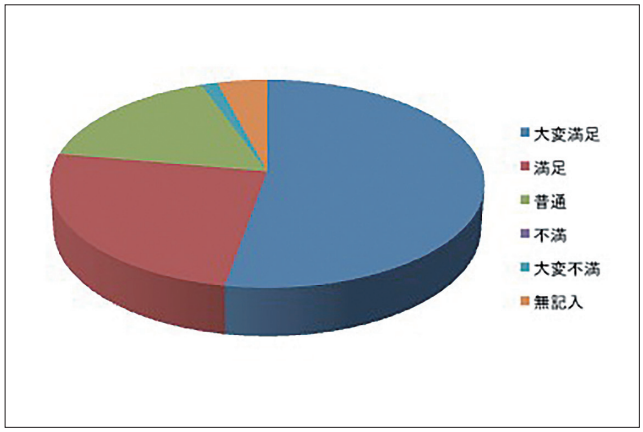
| 項　目 | 地震について | 雷について | 雨について | 氷雪について | 防災用品 | 防災サイエンス | 消防服体験 | 気象台の実験 | 無記入 | 小　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 13 | 2 | 2 | 1 | 22 | 7 | 10 | 17 | 32 | 106 |
| 比率（%） | 27.6 | 4.3 | 4.3 | 2.1 | 46.8 | 14.9 | 21.3 | 36.2 | 68.1 | 100.0 |



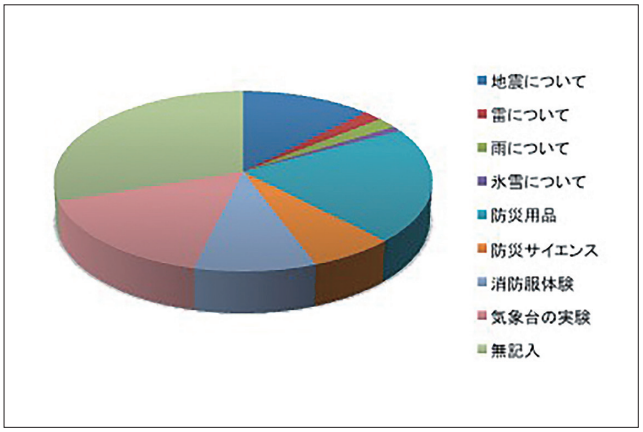

広告媒体




来館動機




満足度




おもしろかった展示コーナー

アンケート記述内容

| 番号 | 記載日 | 住　所 | 性別 | 年齢区分 | 感想・意見 | 要　　望 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 3月12日 | 松山市 | 女 | 小学生 | | おばけ屋しき |
| 2 | 3月13日 | | | | おもしろかった。 | |
| 3 | 3月13日 | 愛南町 | 女 | 15歳以下 | 初めて雨の形を考えたので楽しかったです。 | |
| 4 | 3月13日 | 愛南町 | 女 | 小学生 | おもしろかった。 | |
| 5 | 3月13日 | 愛南町 | 女 | 小学生 | すごく楽しかった。もう少しじっけんをふやしてほしい。 | |
| 6 | 3月13日 | | 女 | 小学生 | もう少しじっけんをふやしてほしい。 | じっけんしてじっけんどうぐをもってかえる。 |
| 7 | 3月13日 | 新居浜市 | 女 | 40代 | とても楽しくためになる展示でした。小学校や幼稚園でぜひみてほしいです。宣伝がたりないのか人が少なくざんねん!! ウテッキィは常設でほしいです。 | ひなんをそうていした防災キャンプ、深海展の時みたいな感じで恐竜展（化石展？）、ちえの輪とくしゅう |
| 8 | 3月13日 | 新居浜市 | 男 | 小学生 | 雲などのすがたをみえておもしろかった。 | リニアモーターカーのもけい |
| 9 | 3月13日 | 四国中央市 | 女 | 小学生 | いろいろなことをしってよかったです！ | うちゅうのことをおしえてくれるきかくがあったらいいです。 |
| 10 | 3月13日 | 新居浜市 | 女 | 30代 | 大変満足です。専門家の方に詳しい話もきけてよかったです。 | |
| 11 | 3月13日 | 松山市 | 女 | 小学生 | とくにない | |
| 12 | 3月13日 | 松山市 | 女 | 小学生 | とくにない | |
| 13 | 3月19日 | 今治市 | 男 | 60代 | かんいタンカの作り方がほしいです。 | |
| 14 | 3月20日 | 新居浜市 | 女 | 20代 | 見るだけじゃなくてじっさいに服をきたりして体験できるのがよいと思うし、他にもいろんな体験できるのをふやしてくれるとうれしい。 | |
| 15 | 3月20日 | 愛媛県 | 女 | 小学生 | | |
| 16 | 3月20日 | 新居浜市 | 男 | 15歳以下 | いろいろなことがわかった。 | |
| 17 | 3月20日 | 新居浜市 | 女 | 小学生 | | |
| 18 | 3月20日 | 西条市 | 男 | 幼児 | | |
| 19 | 3月20日 | 西条市 | 女 | 小学生 | しょうぼうしさんのふくがきれておもしろかったしたのしかった | |
| 20 | 3月20日 | 西条市 | 男 | 40代 | 消防士さんの服を子供たちにきさせてもらいありがとうございました。 | |
| 21 | 3月20日 | 広島県 | 男 | 30代 | | |
| 22 | 3月20日 | 西条市 | 女 | 小学生 | ふくをきたのが楽しかった。 | 電気をつくりたい。 |
| 23 | 3月20日 | | | 幼児 | たのしかった | 歴史をみたい |
| 24 | 3月20日 | | 女 | 小学生 | | |
| 25 | 3月21日 | | | | たのしかった | |
| 26 | 3月21日 | | | | たのしかったよー | |
| 27 | 3月21日 | | 女 | 小学生 | しょうぼうしの服をきたことが楽しかったです。 | おばけやしきをしてほしいです。 |
| 28 | 3月21日 | | 女 | 小学生 | しょうぼうしのふくをきてがたのしかったです。 | おばけやしきをしてほしい |
| 29 | 3月24日 | 新居浜市 | 女 | 小学生 | とってもわかりやすくておもしろかった。 | いろいろなことがわかりやすいのでこれといったことはありません。 |
| 30 | 3月24日 | | | | | |
| 31 | 3月25日 | | | | | |
| 32 | 3月25日 | 新居浜市 | 女 | | | |
| 33 | 3月26日 | 新居浜市 | 男 | 60代 | | |
| 34 | 3月27日 | | 男 | 60代 | | |
| 35 | 3月27日 | | 女 | 40代 | | |
| 36 | 3月27日 | | 女 | 小学生 | | |
| 37 | 3月27日 | | 女 | 15歳以下 | | |
| 38 | 3月27日 | 香川県 | 女 | 小学生 | もっと遊べるものを増やしてほしい | |
| 39 | 3月27日 | | | | | |
| 40 | 3月27日 | 山口県 | 男 | 小学生 | | |
| 41 | 3月27日 | 香川県 | 女 | 小学生 | | 子どもがたくさん走り回れるような公園を作ってほしい。 |
| 42 | 3月27日 | | | 小学生 | すごくわかりやすくてたのしかった。 | |
| 43 | 3月27日 | 松山市 | 女 | 小学生 | | |
| 44 | 3月28日 | 新居浜市 | 女 | 小学生 | おもしろかったー。 | |
| 45 | 3月28日 | | | | もっと体けんできるといい | 原し人の暮らしについて |
| 46 | 3月28日 | 新居浜市 | 女 | 小学生 | | |
| 47 | 3月29日 | 新居浜市 | 女 | 60代 | | |
| 48 | 3月29日 | 新居浜市 | 女 | 15歳以下 | じしんのときにどんなよういをすればいいかわからなかったのでこのコーナーを見てよかったなとおもいました。ダンボールトイレがとてもよかったなとおもいました。 | |
| 49 | 3月29日 | 新居浜市 | 女 | 30代 | 非常時のトイレについて心配だったので、よくわかりよかったと思います。 | |
| 50 | 3月30日 | 佐賀県 | 女 | 小学生 | じしんがとても・・・こわい | |
| 51 | 3月30日 | 東京都 | 男 | 小学生 | しらないものがわかった。べんきょうできた。 | おいしいカレーをつくるたいけん。 |
| 52 | 3月30日 | 西条市 | 女 | 小学生 | | |
| 53 | 3月30日 | 佐賀県 | 男 | 中学生 | おもしろいし、勉強になる | 車展 |
| 54 | 4月2日 | 新居浜市 | 女 | 小学生 | | 夏のおばけやしき |
| 55 | 4月2日 | 西条市 | 男 | 60代 | 大変参考になりました。 | |
| 56 | 4月2日 | 西条市 | 女 | 50代 | 地震のこわさを少しかんじました。西条市での災害も知ることが出来ました。 | |
| 57 | 4月3日 | 愛媛県 | 女 | 小学生 | | |
| 58 | 4月3日 | 大洲市 | 女 | 20代 | すごく良かった!! | トリックアート |
| 59 | 4月3日 | 四国中央市 | 男 | 小学生 | | |
| 60 | 4月3日 | 兵庫県 | 女 | 小学生 | わかりやすくて、おもしろくて知れたので、もっとこうしようと考えれて、よかったです。 | ○○ができたわけ（言葉の由来）です。 |
| 61 | 4月3日 | 愛媛県 | 男 | 小学生 | | |
| 62 | 4月3日 | 新居浜市 | 女 | 30代 | 体験ができるとよかった。 | |
| 63 | 4月3日 | 神奈川県 | 男 | 中学生 | もっと体験できるようにしてほしい | 昔～今までの日本と世界を比べたお金の展示 |
| 64 | 4月4日 | | | | ペッパーとはなせた | |
| 65 | 4月4日 | 西条市 | 女 | 50代 | 西条市において防災士として活動を始めました。参考になることがあり、もっとこのような企画展を、市内で、イベントでできれば…と考えています。 | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 66 | 4 月 7 日 | 新居浜市 | 女 | 小学生 | おもしろい | |
| 67 | 4 月 7 日 | 四国中央市 | 男 | 60 代 | | |
| 68 | 4 月 7 日 | | 男 | 30 代 | | |
| 69 | 4 月 8 日 | | | | | |
| 70 | 4 月 9 日 | 新居浜市 | 女 | 40 代 | 3.11 から時間がたって、防災意識がうすれていたことをさいかくにんさせられました。 | 忍者とか。 |
| 71 | 4 月 10 日 | 西条市 | 男 | 40 代 | 耐震技術などの展示があれば、もっと満足度が高いと思います。 | |
| 72 | 4 月 10 日 | 新居浜市 | 女 | 40 代 | とてもたいせつなことなのに、アピールがたりない気がしました。消防服を新居浜消防本部からかりているなら、災害時の消防士の活動紹介コーナーを作ったり、新居浜の危険か所の紹介や対策を展示をしてほしかった。消防服はいつでもきられるようにしておいてほしかった。 | 防災・減災の展示←さわれるものを多くしてほしい。子供が危険から身を守れるように、ゲームかんかくでできるコップ作りや、ひなん方法について考えるコーナーがほしい。愛媛で発くつされた化石の特集・瀬戸内の海賊について |